



本校の授業改善に向けた視点

| 指導内容・指導方法の工夫 | 教育課程編成上の工夫 | 校内における研究や研修の工夫 | 評価活動の工夫 | 家庭や地域社会との連携の工夫 |
|--|---|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○算数科において、少人数指導の工夫を行う。 ○体験的・問題解決的な指導を重視する。 ○地域の人材や教材を授業に生かす。 ○発展的及び補充的な学習を開発する。 ○年間指導計画及び評価規準の活用と改善を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○2学期制を行うことで、時間的・内容的なゆとりを作る中、教師と子どもとのふれあいを大切に、学力の基礎・基本の確かな定着を図る。 ○読書環境及び読書活動の充実を図る。 ○年2回の読書週間の実施、保護者の読み聞かせ、毎週1回の朝の読書タイムを実施する。 ○異年齢集団や隣接学年などの交流を日常的に取り入れ、児童の好ましい人間関係を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○学級経営の研究を通して、豊かにかかわりあう学級集団をつくり、思いや考えを表現しあえる児童を育てる。 ○2年次・3年次研修の授業研究を参観し、協議会をもつことで、基本的な授業の進め方について全員で再確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○授業や諸活動の中で、随時適切な評価を加え、その結果を指導に生かす等、評価と指導の一体化を目指す。 ○学習の中で、児童が相互評価、自己評価をし、それをもとに新たな課題を作るように工夫する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○土曜授業をいかし、年間5回の授業公開を実施する。 ○学校公開の保護者の感想や外部評価を授業改善に生かす。 ○保護者・地域の方々を講師にした体験学習を充実させる。 ○学校評議員による学校運営への参加を進める。 |